君はニッポン100年企業の底力を見たか!!

最先端IoT時代を闘いしかも長寿のサプライズ

泉谷 渉
Izumiya Wataru

目次

序文

「和の精神」で闘うニッポン
１００年企業はまさにサプライズ
～何度となく辛酸をなめ、滅亡の危機にさらされ、
それでも乗り越えてきた!!―― 9

第1章

２０２０東京五輪、２０２５
大阪万博に向け１００年企業発進 ―― 13

波紋を呼んだ２０２０東京五輪エンブレムは「地味系」が武器 ―― 14
５６年ぶりの東京オリンピックを起爆剤に、ニッポン老舗企業復活ののろし ―― 15
１００年企業も多い大阪は、２０２５年の万博に向け舞い上がっている ―― 17
広島は１００億円を超える官民ファンドで１００年続く企業を徹底支援 ―― 18
あの「松田聖子」を生み出した八女・久留米エリアはすばらしい!! ―― 20
実際は全くグローバル化していない日本という国の姿 ―― 21

第2章

ＩｏＴ時代の半導体産業も１００年企業が支える

創業１４３年の名門「東芝」は半導体メモリー売却で復活モード突入 25
毎日新聞グループが半導体装置大手の東京エレクトロンを生み出した‼ 26
創業１３３年を迎える田中貴金属グループの挑戦は続く 28
半導体用多結晶シリコンで世界シェア３０％を持つトクヤマの新たな出発 29
「取引先の方も、仕入れ先の方もすべてはご縁」という考え方のメテック 31
福田金属箔粉工業は「身のほど知りすきまを狙え‼」で３１８年を生き抜いた京都企業 33
住友金属鉱山のルーツは天正１８年、豊臣秀吉の小田原北条攻めの年に京都で創業 34
ＳＣＲＥＥＮグループは創業１５０年の歴史刻み、半導体／液晶洗浄でトップ 35
荏原製作所は半導体ＣＭＰ事業で絶好調、「学の原則」アピール 37

第3章

エネルギー産業の新展開に１００年企業が貢献

今後の１００年間に必要なエネルギーは過去２００年間の７～８倍 38
シェールガスラッシュで米国の原油生産量は２０１８年末に世界トップとなる 41
５００億円を投じた青森八戸ＬＮＧターミナル本格稼働の意義 42
石油時代の終焉近づき、出光・昭和シェル統合に向かう 43

第4章　成長産業の航空機、鉄道も100年企業が活躍　55

バイオガス発電が再生可能エネルギーの主役になる日　48
日本政府の戦略エコカーは燃料電池車でトヨタが世界最先行　50
水爆大怪獣のゴジラは人類の環境破壊に対するアンチテーゼだ　52
航空産業、夢の300兆円マーケットに向けてテークオフ　56
高速鉄道の日本勢のシェアは世界の30%占有、100年企業が大活躍　57
東レの炭素繊維1兆円受注は近頃最大のサプライズだ　58
短期の利益だけを考えてR&Dを減らせばニッポンの将来はない‼　59

第5章　IoTの主役のロボット、センサーは日本の得意ステージ　63

日本企業はロボットの世界シェア60%を持ち、医療介護系に展開　64
ロボット王国ニッポンは雨あられの設備投資ラッシュ　65
世界の温度の標準を持つチノーは創業105年目を迎えた　67
沖電気工業はIoTセンサーデバイスで生き返るのだ‼　68
今や100年企業になるホーチキは「働いて良かった！」という会社　69

ニッポンのデザインとセンサーで1次産業も切り開く 71

第6章 世界に貢献する日本の医療産業も老舗の力が重要 73

ニッポンの医療産業が世界を制覇～最先端機器に必要な中小企業の底力 74
日本のエース「オリンパス」は内視鏡の世界シェア７０％占有し疾走 75
１００年企業の日立は病院の医療ＩＴサービスに全力投球を考えている 77
創業１３６年の東洋紡は何と女性下着で生体信号を計るのだ 78
「塩分取りまくりの長野県民の世界一長寿」を医者はどう説明するのか 80
第一工業製薬は創業１０９年にして1万種類の製品群で１０００億円企業狙う 81
不思議企業の旭化成は８０年前のベンベルグ技術で今も勝負 82

第7章 食料品、文具、お笑いなどでも１００年企業はがんばる 85

医薬、お笑い芸能、家具屋に至るまでのバラエティを持つ１００年企業 86
マーブルチョコレートで一世風靡の明治は１１３年の歴史刻む 87
１００年企業のキッコーマンとハウス食品の存在感が増してきた 89
１１８年目を迎える日清製粉グループは超ユニーク開発が得意 91

国の誉れになりたいと考えた創業者は「コクヨ」という社名をつけたのだ　93

第8章
世界最強の自動車産業も日本の素材・部品が支える　95

創業100年を超えるニッポンの繊維産業は今も最先端で勝負している　96
創業100年を迎えたパナソニックは車載用電池で勝負をかけている　97
GSユアサは車載用リチウムイオン電池で勝負の時を迎えた　99
創業100年を迎えた日本板硝子は自動車向けで勝負する　101
ニッポンの自動車素材は100年企業が大黒柱として支えている　102
創業121年を迎えた宇部興産は次代の価値を追求する‼　104
熊本県下唯一の上場企業、平田機工の社長は従業員を守るが信条　105
ニッポンのモノづくり文化を代表するトヨタスピリッツに学べ　107

最終章〈対談〉
「日本企業長寿の秘訣は人財がすべてという考え方〜真の〝恥〟を知る文化も日本人を支えてきた〜」
産業タイムズ社　代表取締役社長　泉谷渉VS
企業100年計画代表取締役社長　市岡孝治　111

創業143年の名門「東芝」は半導体メモリー売却で復活モード突入

何かと話題であり、世間お騒がせの東芝は、明治維新から150年を迎えた2018年に創業143年目に突入した。もちろん日本の電機業界最古の企業であり、栄光の歴史を築いてきたが、かのウエスチングハウス問題に端を発し「くたばれ‼　東芝」「名門も地に落ちたな」と言われ続け、東証2部に転落し、経営そのものが危ぶまれていた。

しかしながら18年5月15日、東京都内で開催された決算説明会では、かなりの人が息を飲んだのだ。18年3月期売り上げは3兆9476億円（前年比2・4％減）であったが、最終利益が驚くなかれ8040億円（前年は悲惨ともいえる9657億円の損失）で、見事黒字に転換したのだ。これはすなわち17年3月期に創業以来の最大赤字を出し、その翌年度にこれまた創業以来最大の黒字を出すというミラクルな現象となった。

これを支えたのが何といってもメモリー事業である。非継続事業とされたメモリー事業を組み込んだストレージ&デバイスソリューション部門の売上高は2兆64億円（前年比18・0％増）、営業利益は5196億円（実に前年比210％増）となった。フラッシュメモリーを黄金武器とするメモリー事業の売上高は1兆2049億円となり、前年の8192億円から34％も伸ばしたのだ。同部門の営業利益率も前年比約2倍となり39・8％増を記録した。

「こんなにボロボロに儲かるフラッシュメモリーを何ゆえに手放すのでしょう。いくらメインバンクがしつこくお金を返せと言ってきても、虎の子の東芝メモリを売却するのはおバカさんとしか言いようがない」

これは筆者が親しくする女性アナリストの談話である。実のところ彼女のような意見を持っている人はかなり多かった。中国が嫌がらせでこの東芝メモリ売却を承認しないのであれば、それを逆手にとって「もう売らないもんね」と、舌を出すことだってできたのだ。

しかして、中国の独占禁止法当局から東芝メモリの売却承認がされたことで、一連の混乱は収束へ向かった。東芝再建に向けた多くの課題はすべてクリアになった。6月1日に譲渡が完了した。契約によればベインキャピタルを軸とする日米韓連合に2兆円で売却したことになるが、この売却益9700億円は東芝の19年3月期売上に計上される。これを軸

日本企業はロボットの世界シェア６０％を持ち、医療介護系に展開

アベノミクスの日本再興戦略の切り札は、ロボット産業にあるのだ。失業率３・３％という世界の歴史上初めての数字を記録し、超完全雇用状況を達成したのは良いが、あらゆる企業が現状で人不足に苦しんでいる。少子高齢化に苦しむ日本は何としてもロボット産業を一気に拡大しなければならない。

ロボット産業はおおよそ1兆５０００億円にまで引きあがり、ここ数年間は爆発的成長を続けている。１０兆円市場も視野に入った。ロボットにおける日本企業の世界シェアは約６０％でぶっちぎりトップを走り、しかも世界のロボットの生産の５３％は日本国内で行われている。

さて、ソフトバンクが鳴り物入りで開発し、販売しているＰｅｐｐｅｒは感情をもったパーソナルロボットであり、人に寄り添い、まるで生きているかのように行動する。発表後すでに数万台出荷しており、1回の販売分１０００台は1分で受付終了となり、爆発的人気。今後は一気量産を計画する。

Ｐｅｐｐｅｒには表情と声からその人の感情を察する感情認識機能が備わっている。あなたが嬉しい時には一緒に喜ぶ、Ｐｅｐｐｅｒが寂しがることもある。触れ合ったり一緒に遊んだりすることもできる。また、特別なロボアプリを手に入れればもっと楽しい。スマホアプリとも提携できるため、家族全体で使える。

クラウドネットワークと連携しているためにこれまでのロボットができなかった情報活用が可能となり、人にぴったり寄り添うロボットとしての可能性が一気に広がった。人や障害物をセンサーなどの電子デバイスで検知し、衝突防止機能やオートバランス機能などをフル装備。胸には電子ディスプレイが搭載されており、今どんな気持ちであるのかをビジュアルの色変化で表す。嬉しい時は緑、悲しい時は赤。

こうしたアミューズメントロボットが家庭内に入っていく場合、ロボットを利用した健康管理、ロボットが家の中を自由に行き来し、遠隔地からも子供や高齢者を見守る機能、幼少期から子供とロボットが英語で会話し、語学能力を伸ばす機能などが付加されれば一般汎用の民生家電ともいえるものになるのだ。

高齢者介護を前面に押し出したロボットも出てきている。

書　名 .....君はニッポン 100 年企業の底力を見たか !!
体裁・頁数 .....B5 判　オフセット刷り　118 頁
定　価 .....8,000 円＋税
発　行 .....2018 年 6 月 29 日

この PDF ファイルは株式会社産業タイムズ社が、サンプル閲覧用に作成したものです。
この書類の記事・写真図画等の著作権は株式会社産業タイムズ社、またはその情報の提供者に帰属します。
再配布にあたっては内容の改変を行わないでください。
Copyright (C) 2018 Sangyo Times, Inc. All rights reserved.